

科目名称：	介護事務演習 I	
担当者名：	梅野 金一	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
高齢化社会といわれる中で、福祉施設や医療施設など、介護保険のサービスを提供する施設は年々増加しています。本授業では、介護報酬を正しく算定し、高齢者が円滑にサービスを利用できるよう、説明やサポートを行う介護事務に必要な知識や技能を修得することを目的とします。		
授業の達成目標・到達目標		
介護保険制度のしくみや各サービスの種類とその内容、利用者負担などの介護事務の基本について理解を深めます。目標の一つとして「介護事務管理士技能認定試験」の筆記試験合格を目指します。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)		90	10		100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 介護支援専門員	《経験年数1》 23年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
知識・技能	基礎的・基本的な知識や技能につけて、統合的に活用できる	基礎的・基本的な知識や技能につけて、部分的に活用できる	基礎的・基本的な知識や技能について理解が出来る	基礎基本となる知識や技能が不十分
学びに向かう力	学習で新たに得た知識に基づき課題設定をし解決に向け主体的に取り組んでいる	学習で新たに得た知識に基づき課題設定をしている	学習内容に関して課題意識を持つことができる	学習内容に関連する課題設定ができていない
論理的思考	データの意味・要素が理解できる 情報の関連や構造を統合的に活用できる	データの意味・要素が理解できる 情報の関連や構造を把握できる	データの意味・要素が理解できる 情報のつながりを見いだせる	データの意味・要素が理解できない 情報のつながりを見いだせない
知識を活用する	とてもよいに加えて、学習した内容を他の人に伝える事ができる	応用問題を学習したことを複数組み合わせ解決する事ができる	応用問題を学習したことを活用する事ができる	応用問題を学習したことを活用する事ができない

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 介護保険制度のしくみ	医療保険制度について復習し、ミニレポートにまとめておくこと	40分
第2回 サービス提供の流れと利用者との契約	介護保険制度のしくみについて、ミニレポートにまとめておくこと	30分
第3回 サービスの種類と内容	練習問題1に取り組むこと	15分
第4回 サービスの提供機関	サービスの種類と内容をミニレポートにまとめ、サービス名称を覚えること	30分
第5回 支給限度額と給付管理業務	支給限度額の対象について、一覧表にまとめておくこと	15分
第6回 請求と支払のしくみ	練習問題2に取り組むこと	15分
第7回 利用者負担の徴収	練習問題3に取り組むこと	15分
第8回 他制度との関係	練習問題4に取り組むこと	15分
第9回 介護報酬の特徴と原則	演習問題①を解いてくること	30分
第10回 演習問題①(グループワーク)、確認小テスト	演習問題②を解いてくること	30分
第11回 演習問題②(グループワーク)、確認小テスト	演習問題③を解いてくること	30分
第12回 演習問題③(グループワーク)、確認小テスト	演習問題④を解いてくること	30分
第13回 演習問題④(グループワーク)、確認小テスト	演習問題⑤を解いてくること	30分
第14回 演習問題⑤(グループワーク)、確認小テスト	演習問題⑥を解いてくること	30分
第15回 演習問題⑥(グループワーク)、確認小テスト、総括	確認小テストで不正解だった問題について、解説内容をミニレポートにまとめておくこと	40分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。

確認小テスト 90%、提出物 10%

課題に対するフィードバック

確認小テストおよび提出物は、採点・評価後に返却する。

教科書・参考書

『介護テキスト1(保険制度のしくみ)』株式会社ソラスト
『介護テキスト2(算定の方法)』株式会社ソラスト
『介護テキスト3(レセプトの書き方)』株式会社ソラスト
事前事後学習及び授業内で参照する。